FUJI ELECTRIC INDUSTRY

IR REPORT

第68期 報告書

2025年2月1日 ～ 2026年1月31日

不二電機工業株式会社

経営計画「新STEP50」で挑戦を続けています

第68期のポイント

1. 重電機器市場は電力需要の高まりで設備投資が堅調、民需向け省工数製品の売上拡大
2. 鉄道車両市場は新造車の生産数が少なく低調
3. 海外市場では東アジアの一部と中東向けが振るわず

代表取締役社長 八木 達史

トップメッセージ MESSAGE FROM THE PRESIDENT

第68期（2026年１月期）の概況

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第68期（2026年１月期）の概況についてご報告申し上げます。

当社では、第75期（2033年１月期）に売上高50億円を目標とする経営計画を「新STEP50」と称し、第67期（2025年１月期）から第69期（2027年１月期）までの３ヵ年を中期経営計画2027（新STEP50フェーズ1）として、第69期の売上高42億50百万円を目指しております。

中期経営計画2027の２ヵ年目であった第68期は、目標達成に大きく影響する重要な期であり、その意識を強く持って事業活動を推進いたしました。その結果、プラス要素として、重電機器市場では半導体やAI関連の需要拡大などを背景に、電力向けの送電網の増強や工場やビル等民需向けの設備投資が堅調であったため、補助開閉器や端子台、新製品の無停電交換用コネクタの売上が増加いたしました。また、産業機械向けに汎用端子台が前期に続いて好調を維持いたしました。一方、マイナス要素として、鉄道変電設備の更新案件が端境期となり、鉄道車両市場でも新造車の生産数が谷間を迎えたことから低調に推移いたしました。海外市場では東アジアの一部と中東向けが振るわなかったことから、全体の売上高は前期を下回り、目標比もマイナスとなりました。

その結果、売上高は3,777百万円（前年同期比3.8％減）となりました。利益面では、売上高が前年同期を下回り、材料費高騰による製造原価の増加ならびに販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益は248百万円（前年同期比17.7％減）、経常利益は303百万円（前年同期比12.5％減）、当期純利益は236百万円（前年同期比1.9％減）となりました。

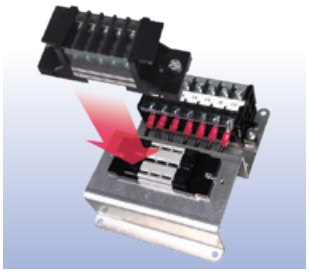
無停電交換用コネクタ　UPD形

重点項目の取り組み

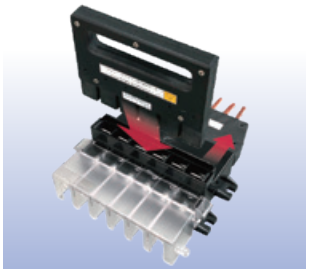
当期も中期経営計画2027の重点項目「利益拡大への取り組み強化」「働きがいのある職場環境の整備」「サステナブルへの取り組み推進」に注力いたしました。

「利益拡大への取り組み強化」では、モノづくり企業として売上高拡大に向けて付加価値の創造に挑戦しております。取り組みの共通キーワードを「デジタル化」「省力化・省人化」「既存の強み」としており、「省力化・省人化」ニーズに向けて無停電交換用コネクタがテナントビル向けに堅調に販売を伸ばしております。

生成AIをはじめとしたデジタル技術の拡大により



CT回路短絡端子　TJ-CTM形



無停電交換用コネクタ　UPC形

データセンターの建設が急増しており、当社も業界最大級の展示会「Data Center JAPAN 2025」に出展し、データセンター市場の開拓を図っております。また、電力会社、再生可能エネルギー発電所などの電力供給側、大規模工場や鉄道変電所、データセンターなど電力大口需要側の双方からデジタル変電所技術が注目されております。当社としても、デジタル化に必要となる通信国際標準規格IEC61850に適用したインターフェイスユニットの開発を当期に発表いたしました。第69期半ばの販売開始に向けて営業活動を開始しております。

新規事業への挑戦では、当社の持つ装置製作と金型製作の２つの技術を基礎に「省力化・省人化」をキーワードとして、様々な企業に向けた営業活動を強化してまいりました。当期は装置製作や金型製作の取引案件を獲得し、売上を大きく伸ばすことができました。また、経営企画室を中心に、中長期事業戦略として第１次産業を含む人手不足の様々な産業をターゲットに、産学連携により畜産業の現場で活きるアイデアを取り入れ、事業展開の可能性を模索しております。

「働きがいのある職場環境の整備」では、当期に「女性活躍推進」に重きを置いた環境の整備を目的として女性メンバーで構成する「女性が活躍できる職場創造プロジェクト」を発足させ、働く環境の改革に取り組んでおります。職場環境の整備とともに社員の意識改革を促し、「男女という区分ではなく一人の人財として誰もが活躍できる職場づくり」に繋げてまいります。

「サステナブルへの取り組み推進」では、中期経営計画において温室効果ガス排出量の削減に取り組んでおり、基準年とする2017年度比で2027年度までに25%削減、2030年度までに30%削減を目標としております。具体的には、省エネ設備への更新を積極的に行っており、当期は業務車両の電動化を進めました。

第69期（2027年１月期）の見通し

ここ数年顧客における部品長納期化対策として一括手配されていた納入品の在庫消化が一段と進み、当期の受注高は前年同期比109%と回復傾向にあります。

中期経営計画2027の３ヵ年目となる第69期は引き続き重点項目に掲げる「利益拡大への取り組み強化」「働きがいのある職場環境の整備」「サステナブルへの取り組み推進」のもと、電力需要の高まりによる設備投資の増加を追い風として新製品開発と販売拡大に取り組むとともに、近年の材料やエネルギーコストの上昇が激しさを増す事業環境の中で、価格の適正化についても理解を求め、当社はもとよりサプライチェーン全体を含めた持続可能性を念頭に置いた課題として取り組んでまいります。

第69期も「今を変える。未来を創る。」を活動目標に掲げ、新たに「変えよう、変わろう、変えていこう！」を合言葉に、全社を挙げ経営計画達成に向けて全力で取り組んでまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、今後一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

Topics

「えるぼし認定（3つ星）」を取得いたしました

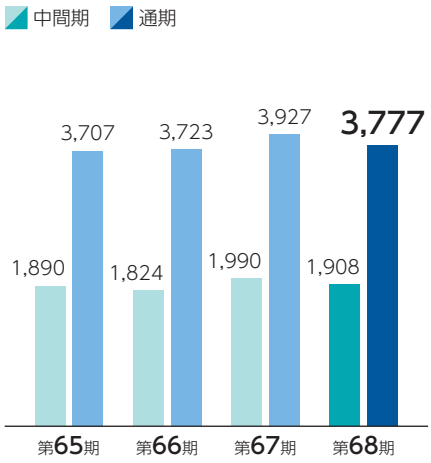
当社は、女性が継続的にキャリアを築ける環境づくりを重要なテーマとして掲げており、女性社員を中心としたプロジェクトチームを立ち上げ、他社の先進事例を参考に、女性がキャリアアップに向けて前向きに挑戦できる環境を作るために何が必要か、働き方の柔軟性、ロールモデルの育成、評価制度の透明性、キャリア形成を支える研修や対話の場など、多角的な視点で議論を行っております。

2025年８月に、女性の活躍を支援する制度や実績が一定の基準を満たしている企業に与えられる「えるぼし認定（３つ星）」を取得いたしました。今後も、女性社員がモチベーションを高め成長できる仕組みづくりを進めるとともに、性別に関わらず誰もが挑戦しやすい組織風土の醸成を目指してまいります。

財務ハイライト FINANCIAL HIGHLIGHTS

売上高

(単位：百万円)

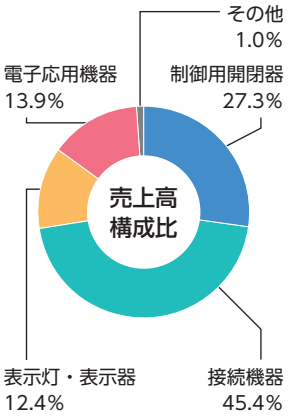


製品分類別売上高

(単位：百万円)

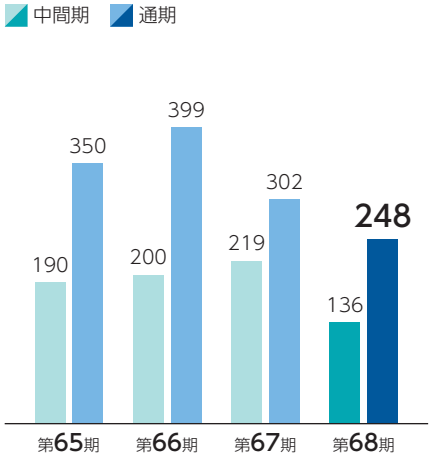
	第67期	第68期
制御用開閉器	1,027	1,032
接続機器	1,609	1,713
表示灯・表示器	501	469
電子応用機器	709	524
仕入販売	70	—
その他	8	38
合　計	3,927	3,777

※仕入販売は第67期をもって事業終息しています。



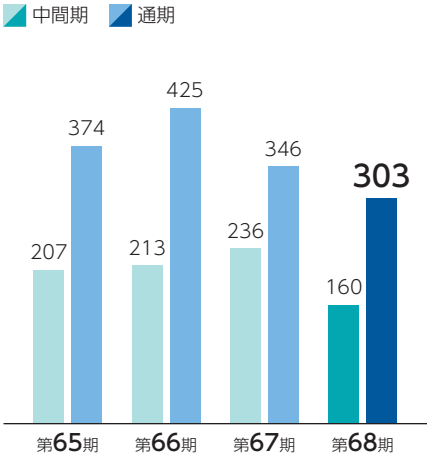
営業利益

(単位：百万円)



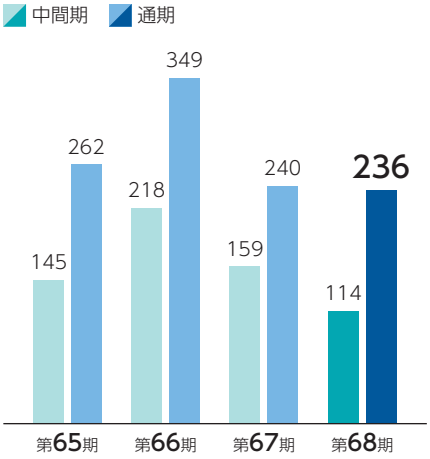
経常利益

(単位：百万円)



当期（中間）純利益

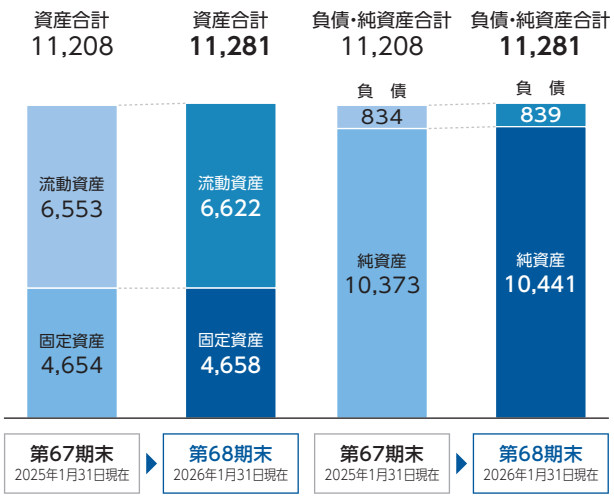
(単位：百万円)



財務諸表 FINANCIAL STATEMENTS

貸借対照表（要約）

(単位：百万円)

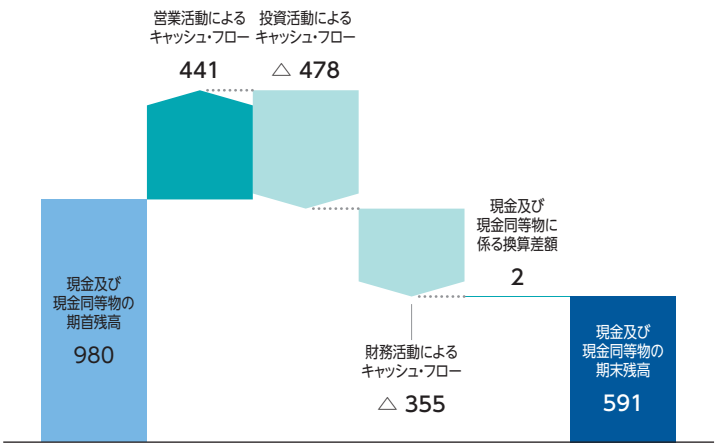


第67期末 2025年1月31日現在 ▶ 第68期末 2026年1月31日現在

第67期末 2025年1月31日現在 ▶ 第68期末 2026年1月31日現在

キャッシュ・フロー計算書（要約）

(単位：百万円)



第68期 2025年2月1日～2026年1月31日

会社概要／株式の状況 (2026年1月31日現在) CORPORATE PROFILE / STOCK INFORMATION

会社の概要

社名	不二電機工業株式会社
本社所在地	京都市中京区御池通富小路西入る東八幡町585番地
創業	1953年2月
設立	1958年5月
資本金	10億8,725万円
従業員	258名
URL	https://www.fujidk.co.jp

役員の状況

代表取締役社長	八木達史	
常務取締役	志萱章宏	
取締役	中清水毅	
取締役	下村徳子	
取締役	吉村良一	
取締役	藤居和義	(監査等委員・常勤)
取締役	佐賀義史	(監査等委員)
取締役	伊原友己	(監査等委員)
取締役	西健晴	(監査等委員)

(注) 1. 取締役吉村良一氏及び取締役（監査等委員）佐賀義史氏、伊原友己氏、西健晴氏は、社外取締役であります。
2. 取締役吉村良一氏及び取締役（監査等委員）佐賀義史氏、伊原友己氏、西健晴氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。
3. 取締役佐々木誠仁氏は2026年1月28日付で取締役を辞任いたしました。

株主メモ

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会開催時期	毎年4月下旬
基準日	
定時株主総会	毎年1月31日
期末配当	毎年1月31日 なお、中間配当を行う場合の基準日は、毎年7月31日
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL https://www.fujidk.co.jp/ir/05_koukoku/index.html
株主名簿管理人・特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(電話照会先)	電話　0120-782-031（フリーダイヤル） 受付時間　9：00～17：00（土日祝および12/31-1/3を除く）
	取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社の口座ではなく特別口座で保管されている株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■期日経過後の配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式の状況

発行可能株式総数	26,676,000株
発行済株式の総数	6,299,000株
	(うち自己株式　1,107,930株)
当事業年度末の株主数	(自己株式除く) 9,781名

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
公益財団法人藤本奨学会	650(千株)	12.52(%)
藤本豊士	616	11.87
京都中央信用金庫	150	2.88
株式会社京都銀行	132	2.54
佐々木嘉樹	110	2.11
日本生命保険相互会社	56	1.08
不二電機工業従業員持株会	53	1.02
藤本遼平	50	0.97
藤本佑哉	46	0.90
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	46	0.90

(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。
2. 当社は当事業年度末において自己株式1,107千株を保有しておりますが、上記「大株主（上位10名）」からは除外しております。

株主アンケート

皆さまの声を お聞かせください

https://koekiku.jp
アクセスキー

抽選でギフト券を進呈！

サービス運営会社：株式会社プロネクサス
お問い合わせ：コエキク事務局
koekiku@pronexus.co.jp

コエキク

株主優待制度のご案内

毎年１月末日及び７月末日基準分の株主様を対象に、クオ・カードを進呈いたします。

所有株式数＼継続保有期間	３年未満	３年以上
300株以上500株未満	500円分	1,000円分
500株以上1,000株未満	1,000円分	2,000円分
1,000株以上	2,000円分	3,000円分

(注) 1. 継続保有期間３年未満とは、各基準日（毎年１月31日または７月31日）時点での当社株主名簿に左記表中の所有株式数区分に定める株式数を所有されていることが記載または記録されている株主様が対象となります。
2. 継続保有期間３年以上とは、各基準日（毎年１月31日または７月31日）時点での当社株主名簿に同一の株主番号で連続して７回以上、左記表中の所有株式数区分に定める株式数を所有されていることが記載または記録されている株主様が対象となります。

不二電機工業株式会社

ホームページURL　https://www.fujidk.co.jp
電子商取引URL　https://edi.fujidk.co.jp

FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK
環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。